

日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。

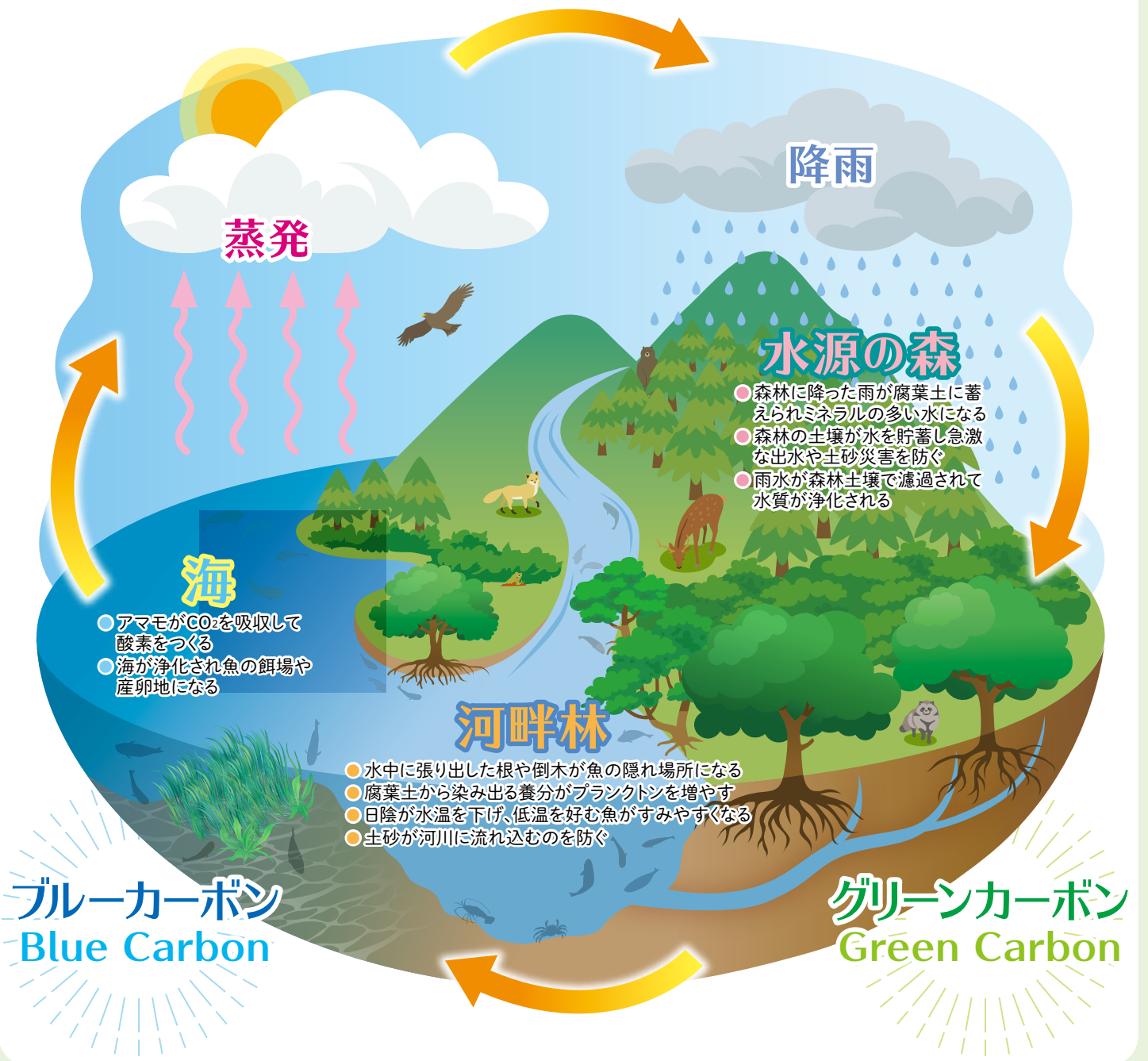


セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO₂削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。

CO₂: 二酸化炭素
カーボン: 炭素



セブンの森・海の森づくり

地域の団体が主体となって、地域の自然環境や特徴、ニーズに合わせた保護・保全活動を行い、10年後・20年後の地域の姿を見据えた長期的な計画のもと、地域に親しまれ愛され、次世代へとつないでいく地域一体型の環境づくりを目指すものです。

また、自然体験や地域交流の機会を提供しながら持続可能な活動へと広げており、森・湿原・草原・湖・河畔林・川・海・休耕田などを対象に、年2回の作業活動を地

域のセブン-イレブン加盟店、セブン-イレブン本部社員、セブン-イレブン記念財団の3者が参加して実施し、支援を行っています。



「東京湾UMIプロジェクト」
アマモの保護活動



「佐賀セブンの森」
地域の団体と共同で活動するセブンの森活動



「霧多布セブンの森」
植樹した木に食害フィルターの設置



「青森セブンの海の森」
団体と大学が連携しアマモの種付け活動している様子

霧多布湿原保全活動 ～霧多布セブンの森～

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。霧多布湿原の約1/3は民有地で、開発の危険があるため、ナショナルトラスト方式での土地買収による保全を行っています。2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。

取得面積 **516.1ha**
(2026年3月末日現在)



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地

トピック 「東京港藻場創出活動アマモ種蒔会」を開催

2025年12月13日、お台場海浜公園にて「東京港藻場創出活動 アマモ種蒔会」が開催されました。本活動は、東京都とセブン-イレブン記念財団をはじめとするパート

ナー企業・団体が協働し、海底環境を整備してアマモを育て、豊かな藻場の創出を目指す取組です。

当日は約200名が参加し、約8,000粒のアマモの種を播種シートに加工して海底へ設置しました。環境学習も行われ、海の生態系や気候変動について理解を深める機会となりました。



セレモニー「アマモの種」の授与



アマモ播種シートの作成



集合写真

「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年から宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木で、NPO法人しんりんと協働し「宮城セブンの森」づくりに取り組んでいます。2014年からは、この森で生じた間伐材を利用した木製募金箱を店頭を設置。木材の循環利用を進めることで森林保全や地球温暖化防止に貢献しています。募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てられており、使用後は燃料や新たな木製品としてリサイクルされます。



宮城セブンの森



NPO法人しんりんと協力し「宮城セブンの森」の整備活動

植樹・育木活動

伐採・活用



宮城セブンの森の間伐材を使用して募金箱を製作



リペア・リユース



汚れや傷などカンナで削り新品同様にして再度利用

木材のカスケード利用



利用が難しくなった物は、ペレットの原材料へ

トピック 宮崎セブンの水辺の森

地域住民とともに、生物多様性に迫る危機を回避し絶滅危惧種を守り、次世代へ良い川を継承するための取り組みを進めています。大淀川は宮崎・鹿児島・熊本の3県にまたがる九州有数の一級河川で、流域面積は九州で2番目、本川の長さは4番目に位置し、約60万人の暮らしを支えています。

この大切な河川を将来にわたり活用していくため、自然環境や生態系への配慮を取り入れた河川整備の重要性が高まっています。そこで、大淀川下流の宮崎湿地では、自然環境の保護・保全と適切な維持管理を行い、生物多様性に富み、誰もが憩える水辺空間を未来へ引き継ぐための活動に取り組んでいます。



宮崎市・大淀川流域ネットワーク・宮崎河川国道事務所・宮崎大学工学部、当財団の5社協定



「宮崎セブンの水辺の森」集合写真



希少な植物の運搬



運搬した期初な植物の移植

セブンの森紹介動画

埼玉セブンの森

協定: 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会・国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所・川島町・セブン-イレブン記念財団
目的: 太郎右衛門自然再生地に生息・生育する多様な生物と自然環境を健全な状態で未来へ引き継ぐことを目的に、森・里・川・海のつながりを意識しながら、自然再生地の保全と周辺地域のさらなる活性化を進めていく

動画はこちら↓



高尾セブンの森

協定: 東京都・セブン-イレブン記念財団
目的: 高尾の森自然学校の貴重な森林を守り、集い学ぶ場所を整備する

動画はこちら↓



庄内セブンの森

協定: 庄内自然博物館構想推進協議会・鶴岡市・セブン-イレブン記念財団
目的: 都沢湿地やその周辺の自然環境を保全し、人が集える湿地を目指す

動画はこちら↓



霧多布セブンの森

協定: 認定特定非営利活動法人霧多布ナショナルトラスト・セブン-イレブン記念財団
目的: 豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐための環境保護・保全活動を行う

動画はこちら↓



青森セブンの海の森

協定: 特定非営利活動法人あおりみなとクラブ・青森市・セブン-イレブン記念財団
目的: 青森港駅前干潟とそれを取り巻く青森市の豊かな自然環境を健全な姿で次世代に引き継ぐ・青森港駅前干潟をきっかけとした「人と自然」「人と人」「人とまち」が融合するコミュニティづくりを進める

動画はこちら↓



長野セブンの森

協定: 株式会社セブン&アイ・ホールディングス・信濃町・長野森林組合・セブン-イレブン記念財団
目的: 荒廃した長野の森を、生物多様性が豊かで地域と共存する森の保全・再生をめざし、「みんなで楽しく笑顔で活動しよう!」をコンセプトに活動する

動画はこちら↓



奈良セブンの森

協定: 一般社団法人大和森林管理協会・上牧町・王寺町・近畿大学農学部・セブン-イレブン記念財団
目的: 自然環境を健全な姿で次世代に引き継ぐことを目指し、陽楽の森における生物多様性の保護および周辺地域の一層の活性化等を図る

動画はこちら↓



広島セブンの森

協定: 東広島市吉川財産区・賀茂地方森林組合・セブン-イレブン記念財団
目的: 松枯れした森を再生するために2013年より開始。植樹、下刈り、間伐など森林整備活動を実施する

動画はこちら↓



「国立公園の環境保全活動に関する協力協定書」を締結

2023年4月7日（金）、一般財団法人セブン・イレブン記念財団は、環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結いたしました。

（左）環境省自然環境局 奥田直久局長、
（右）一般財団法人セブン・イレブン記念財団
山本憲司理事長 ※協定締結時点



協定の経緯

セブン・イレブン記念財団は2023年11月に設立から30周年を迎え、国立公園は最初の指定から2024年で90周年を迎えました。これを機に、両者は国立公園における環境保全活動の推進を図り、自然の風景地の保護及び生物多様性の確保に向け

た取り組みの促進、並びに保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展に寄与することを目的に、相互に協力してこれらの取り組みを促進し更なる取り組みの深化や発信等を行うことに合意し、協力協定を締結いたしました。

協定の概要



霧島錦江湾国立公園 干潟の耕うん活動

【協力内容】

- ①協働で実施する環境保全活動に関する事項
- ②環境市民活動助成に関する事項
- ③環境保全活動への参加の呼びかけに関する事項
- ④その他本協定の目的に資する事項

【活動内容】

- 磐梯朝日国立公園（在来植物の保護保全のため、外来種駆除を実施）
- 日光国立公園（在来植物の保護保全のため、外来種駆除を実施）
- 富士箱根伊豆国立公園（植物の保全のため、防鹿柵の設置・点検を実施）
- 瀬戸内海国立公園（瀬戸内海の生物保護保全のため、海洋ごみ拾いを実施）
- 霧島錦江湾国立公園（干潟の保全・再生を協働で実施）

「霧島錦江湾国立公園整備活動」紹介動画

自然の恵みを未来へつなぐ、干潟再生プロジェクト

「霧島錦江湾国立公園整備活動」では、霧島錦江湾国立公園に位置する重富海岸を舞台に、自然環境の保全と生物多様性の改善を目的とした活動を実施しています。重富海岸では近年、台風の上陸が少なかった影響

により干潟が十分に攪拌されず、土壌が硬く締まり、生きものがすみにくい環境になっていることが課題となっています。そこで本活動では、生きもの観察を通じて干潟の状態を確認するとともに、耕うん作業を行うことで土壌を柔らかくし、生きものが生息しやすい環境の再生を目指しています。

こうした取り組みを継続することで、干潟本来の豊かな生態系を取り戻すとともに、自然との関わりや環境保全の重要性を参加者一人ひとりが実感し、地域の自然を未来へとつないでいくことを目的としています。



霧島錦江湾国立公園 集合写真

霧島錦江湾国立公園
紹介動画はこちら



「セブンの森」づくり一覧

(全35カ所、うち終了12カ所)

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づく

りを目指しています。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名称	場所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	488.7ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
山形県	庄内セブンの森	鶴岡市	2025年～	7.7ha	湿原
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～2024年終了	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
奈良県	奈良セブンの森	北葛城郡王寺町、北葛城郡上牧町	2023年7月～	3.93ha	森林
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲淵	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
福岡県	福岡セブンの海の森	福岡県中央区	2025年～	—	海
長崎県	長崎セブンの森	長崎市相川町	2026年～	0.6ha	湿原
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
宮崎県	宮崎セブンの水辺の森	宮崎市	2025年～	8.8ha	河畔
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原
沖縄県	沖縄セブンの海の森	沖縄県八重瀬町	2025年～	—	海

面積合計 1797.3ha

(2025年度末時点)

「セブンの森」づくり累計活動結果

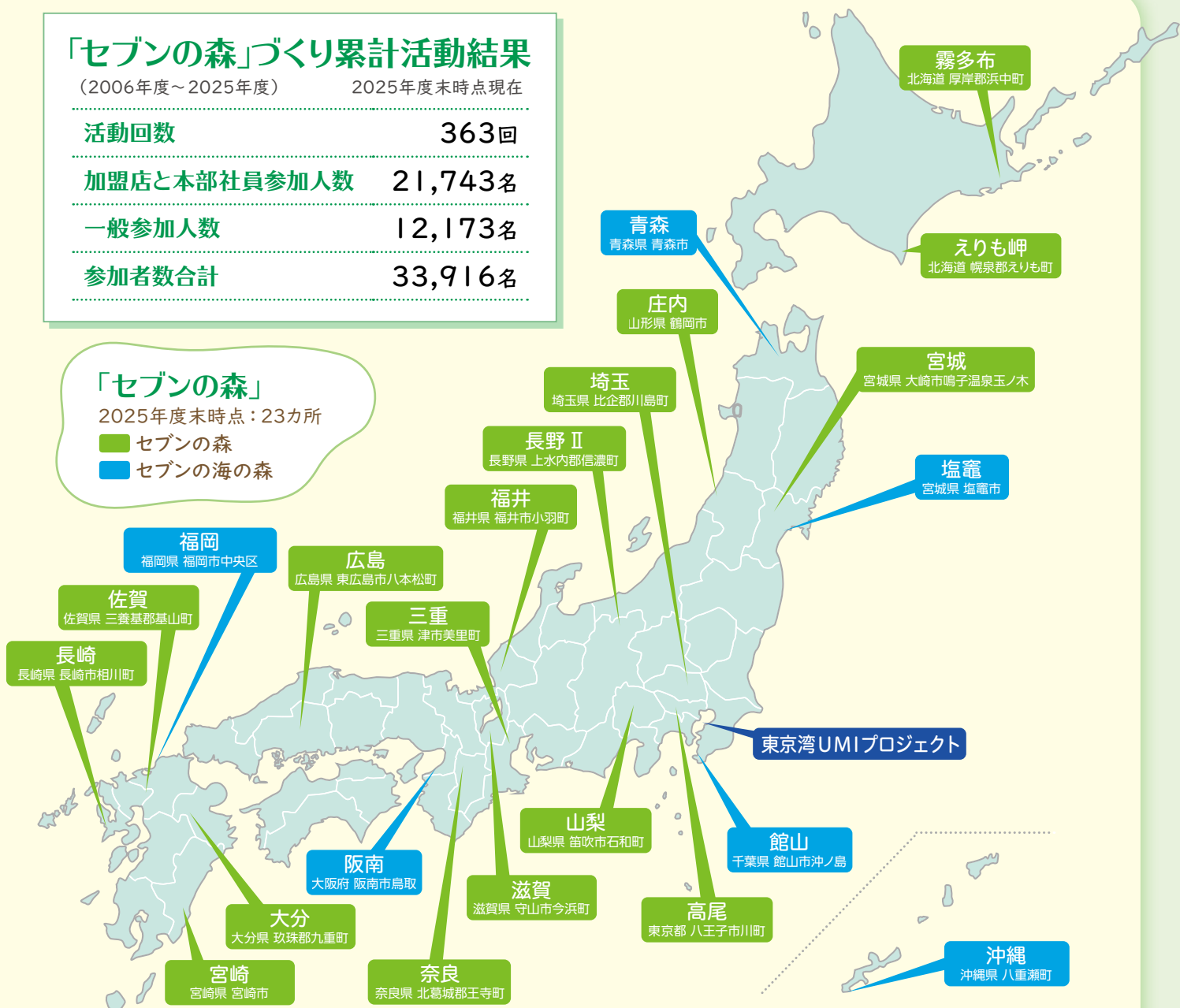
(2006年度～2025年度) 2025年度末時点現在

活動回数	363回
加盟店と本部社員参加人数	21,743名
一般参加人数	12,173名
参加者数合計	33,916名

「セブンの森」

2025年度末時点：23カ所

- セブンの森
- セブンの海の森



トピック 新しいセブンの森づくりが始まりました!

- 2025年 4/16 **福岡セブンの海の森**
福岡県、福岡県ブルーカーボン推進協議会、(一社)ふくおかFUNと整備・保全協定書を締結。
- 2025年 6/25 **沖縄セブンの海の森**
八重瀬町、(株)セブン-イレブン沖縄、ホロホローの森未来づくり協議会と整備・保全協定書を締結。
- 2025年 10/ 3 **宮崎セブンの水辺の森**
特定非営利活動法人大淀川ネットワーク、宮崎市、宮崎大学工学部、国土交通省九州地方整備局宮崎下線国道事務所と整備・保全協定書を締結。
- 2026年 1/22 **長崎セブンの森**
特定非営利活動法人環境保全教育研究所、長崎市と整備・保全協定書を締結。



福岡セブンの海の森協定式



沖縄セブンの海の森協定式



宮崎セブンの水辺の森協定式



長崎セブンの森協定式

自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、
大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、大分県九重町、くじゅう飯田高原に位置する体験型の学びの拠点です。2007年に開校し、阿蘇くじゅう地域に広がる草原環境の保護と継承を中心に活動してきました。野焼きや草原管理の背景を学ぶ体験、農的な暮らしに触れるプログラム、自然観察を通じて、人と自然の関わりを伝えています。地域と連携し、草原文化を未来へつなぐ学びの場として親しまれています。

利用方法と楽しみ方

フィールドは、タデ原・坊ガツル湿原に象徴される草原景観と、田んぼ・雑木林・清流が連なる里地里山。季節ごとに野鳥観察、草原の花を楽しむ散策、里山のくらしに触れる体験が可能です。園内には自然散策路も整備され、初めての方でも安全に楽しめます。

開園日・プログラム参加方法は、公式サイト「参加募集プログラム」欄をご確認ください。団体受入や教育旅行の相談も随時受付しています。



プログラム・ボランティア募集

自然共生型の田んぼ体験（田植え・稲刈り・収穫祭）、草原保全の実地活動、バードウォッチング、里山の手しごとなど、四季を通じた多彩なプログラムを展開。保全ボランティアは、草刈りや散策路整備、モニタリング調

査など経験不問で参加可能です。

募集状況・申込方法・注意事項は公式サイトをご確認ください。企業・学校との協働プログラムもご相談いただけます。



稲刈り



くじゅう生きもの観察会



鹿防止柵設置



みれが池整備前生きもの救出

スタッフ集合写真



高尾の森自然学校

高尾の森自然学校は、東京都八王子市・高尾地域の里山をフィールドに、自然体験・環境教育を推進する拠点です。東京都との協働として、2015年に開校しました。多摩地域の緑豊かな26.5ヘクタールの都有地において、森林整備や里山保全、希少動植物の保護・保全活

動を実施し、自然観察や子ども向け体験、地域参加型の学びを通じ、生物多様性の保全と地域の自然文化を次世代へ継承する人材育成に取り組んでいます。これらの取組が評価され、2025年には「自然共生サイト」に認定されました。



利用方法と楽しみ方

コナラ林を中心とする里山の樹林地には、カワセミやゲンジボタルなどの希少種が生息し、多様な生態系を身近に観察できます。散策路での森歩き、ガイド付き観察会、木の実や間伐材を用いたクラフト体験など、初心者から親子まで楽しめるメニューを用意。

開館日・参加方法・持ち物は公式サイトをご確認ください。安全管理上、プログラムは事前申込制となります。



森里川海 のつながりを学ぶ



ジュニアボランティア

プログラム・ボランティア募集

下草刈り・間伐等の森林整備、希少種モニタリング、野鳥・植物の観察会、畑クラブ、ジュニアボランティア、若年層向け「環境アカデミー」など、多様なプログラムを展開。ボランティアは初心者歓迎で随時募集し、道具や作業のレクチャーも実施しています。

申込は公式サイトまたは八王子市の募集ページへ。CSR/教育連携も受入可能です。最新情報・注意事項は各募集要項をご確認ください。



「九重ふるさと自然学校」ホームページ

大分県玖珠郡九重町大字田野 1726-408
Tel : 0973-73-0001

【開館時間】 9:30~17:00 (最終受付 16:30)
(定休日: 火曜日)

フェイスブック



LINE



「高尾の森自然学校」ホームページ

東京都八王子市川町 705-1
Tel : 042-673-3844

【開館時間】 9:30~17:00 (3月~9月)
9:30~16:00 (10月~2月)
(定休日: 火曜日)

フェイスブック



Instagram



LINE



※どなたさまでもご利用可能な施設となりますが、ご利用の際は必ず、施設事務所にお声掛けをお願いします。



YouTube動画はこちら「セブン-イレブン記念財団自然学校チャンネル」